

公民館だより なかがわ

第511号

令和7年6月6日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

中川地区 さわやかコンサート 「山形県警察音楽隊」

日時：7月5日(土) 開場 10:00 開演 10:30~
場所：中川小学校 体育館 (※内履き持参)
入場料：無料

◎事前申込みは必要ありませんので、お友達、ご親族
などお誘いあわせの上、ぜひお越しください!

※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

上市市地区公民館後援事業

山形ペンチャーズ コンサート

日時：7月6日(日) 受付 9:15~
9:45~11:45 頃

場所：三友エンジニア体育文化センター
エコーホール

定員：先着 360 名

申込み：6月9日(月)より各地区公民館にて
入場チケットを配布。(※なくなり次第終了)

参加料：無料(当日チケットをご持参ください)

問合せ：北部地区公民館 672-2545 まで

高 齢 者 グラウンド・ゴルフ大会

※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

日時：7月22日(火)

場所：永野ふれあい広場

対象：中川地区民

グラウンド・ゴルフのみの場合は、参加料なし

昼食ありの場合は、参加料 4,500 円

お申込み・お問合せ：中川地区公民館(☎679-2501)

6月・7月 行事予定

6/2(月) 三者会、中川地区会長会
6/3(火) 食改主催「笹巻作り講習会」
6/6(金) 市報、館報(午後職員不在)
6/9(月) 主事部会
6/10(火) そば打ち愛好会
6/12(木) 自衛消防訓練
6/13(金) パソコンクラブ
6/16(月) ~18(水) 笹巻き宅配事業
6/18(水) 福祉村だより編集委員会
6/20(金) 防犯協会中川支部幹事会
6/22(日) ウォーキング教室(協会)
6/24(火) 一般講座「マクラメ編み教室」
6/27(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)

7/1(火) 市報、館報
7/2(水) 三者会、中川地区会長会
中川地区路線バス対策協議会
7/4(金) 中川地区活動事業補助金審査委員会
7/5(土) さわやかコンサート
7/6(日) 山形ペンチャーズコンサート
7/11(金) 体育部会
7/15(火) そば打ち教室
7/16(水) ~17(木) 会長会研修旅行
7/18(金) パソコンクラブ
7/22(火) 粋いき倶楽部、高齢者グラウンド・ゴルフ大会共催
(職員不在時間帯あり)
7/25(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
7/27(日) 中川地区夏の安全パレード
7/29(火) 一般講座「スマホ教室」
わんぱく広場「花火祭り」

グラウンド・ゴルフ愛好会
(月曜日) 6/2、9、16、23、30
詩吟教室(火曜日) 6/3、10、24

ラージピンポン愛好会(木曜日) 6/5、12、19、26
スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 6/5、12、19、26

「中川粋いき倶楽部」開講式

5月16日（金）令和7年度中川粋いき倶楽部の開講式が開催されました。会員26名での活動となります。開講式では、来賓の中川地区会長会 佐藤 友治会長よりご挨拶をいただき、その後、今年度の事業予定・予算案の承認を得て、会員さんお一人ずつ自己紹介をしていただきました。

後半は、上山市庶務課危機管理係より講師の方にお越しいただき、「災害への備え」をテーマに「防災講座」を開催いたしました。水防法改正で洪水浸水想定区域が変更になり、上山市のハザードマップも大幅に改訂されました。中川地区を中心に危険区域などを詳しく教えていただき、改めて日頃の心がけ、準備の必要性を学ぶことができました。ハザードマップで危険区域や避難場所を確認し、いざという時に助け合えるように地域とのつながりを大切にしていくことも重要です。

中川粋いき倶楽部は年9回の事業を予定しております。多くの会員の皆さんが楽しく参加していただけるような学び・交流の場を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



【一般講座】「みそ作り教室」

5月20日（火）石井伊惣治商店さんより来ていただき、一般講座「みそ作り教室」が開催されました。一般講座の「みそ作り教室」は今年で3回目となりますが、昨年より麹3割増しの味噌作りに挑戦しています。毎年、開催を楽しみにしている方も多く、今年も10kg作る方も多数いらっしゃいました。麹をほぐして塩を入れ、朝から蒸してつぶしてもらった大豆と水を入れて、手をかけた分だけ美味しくなるとのことで、皆さん一生懸命混ぜていました。最後に、保存場所や管理方法などを教えていただき終了となりました。100日後の出来上がりが楽しみです。美味しいみそになりますように！



ウォーキング教室 「白つつじコース」

5月27日（火）、第2回ウォーキング教室は長井市の「白つつじコース」で開催されました。公園内の白つつじも既に咲きほこっていました。園内を探索したあと、河川沿いを歩いていると、鳥の鳴く声や道沿いに咲く草花、時より吹く風に癒されながらゆっくりと歩いて来ました。



中川地区グラウンド・ゴルフ大会

5月25日(日)、中川地区公民館体育部主催の『第33回中川地区グラウンド・ゴルフ大会』が開催されました。前日からの雨模様で開催が危ぶまれましたがグラウンド整備を行い、一般・愛好会チーム、小学生・中学生チーム合わせて10チームに分かれて、館長の試技で競技開始です！緊張していた様子の子供たちも、徐々に楽しそうな笑い声が聞こえてきました。コツを掴むのがとても早く、プレーする毎に歓声があがっていました。一方、毎週公民館の広場で練習しているグラウンド・ゴルフ愛好会の方々は、さすが!!なプレー続出で、ホールインワンもたくさん出ていました。いつもとは違い、お孫さんや子供たちと一緒に参加することで、普段よりも楽しくプレーしていただけたのではないのでしょうか？グラウンドの状態が良ければもっと日頃の練習の成果をたくさん発揮出来たのではないかと思います。

お忙しい中、お手伝いいただきました体育委員、地域づくり推進員、そして付き添っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年度も開催できるよう公民館、体育委員ともに協力し進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



一般の部

大会結果



小・中学生の部



優勝 木村 豊治さん
準優勝 齋藤 茂和さん
第三位 佐藤 敬一さん

優勝 山田 零穂さん
準優勝 江口 悠大さん
第三位 加藤 滯さん



防犯協会中川支部総会

5月16日(金)防犯協会中川支部総会が開催され、事業計画、予算案について協議し、役員の選出が行われました。今年も、夏の安全パレード、防犯診断、研修会など多くの事業にご協力いただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



中川福祉村 蔵王山頂清掃とつつじ祭り

5月31日(土)に予定しておりましたが、雨の為中止となりました。中川福祉村の各施設から多くの参加申込みがありましたので、大変残念ではありますが、来年の開催を期待したいと思います。

交通安全一口メモ

<横断する歩行者、自転車を見たら、例外なく絶対停止！>

学校も新学期が始まりほぼ2カ月、学校生活に慣れて、はしゃぎながら登校する児童や無謀な運転で自転車通学する中学生も見られるようになりました。歩行者、自転車に対する交通事故は重大事故に発展します。車両運転者は、「横断しようとする歩行者、自転車を見たら、例外なく絶対停止し、安全な横断の確保」を心がけて下さい。(交通指導員 高橋正之)



おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第二百零弾〉

「昭和考、問わず語り」(その52)

甲石地区 高橋 正之

甲石にお住まいの渡邊和さんは、義勇軍に従軍した一人です。その体験を令和三年九月九日、ご自宅で次の様に証言してくれました。以下は著者が聞き書きしたものです。

〈義勇軍に志願〉

我が家は、代々農家でした。小学校は、金谷にあった国民学校に通っていましたが、やがて高等科に進級した年に満蒙開拓青少年義勇軍に志願して入隊しました。まだ十四歳でした。

義勇軍は、三年勤め上げると中学校の卒業資格ができました。このとき、金谷の山口とお君、高野の渡辺ひろし君、甲石の鈴木昭二君と一緒に志願しました。昭和十九年四月、小学校で壮行式をしてもらい、東南村山郡の人は上山と一緒に泊り泊りしたのち、翌日山形に移動し、郡内の志願者約三百人と合流しました。

その後、茨城県内にあった内原訓練所に入り、三ヶ月間訓練を受けたのち、六月に新潟港から満州に向け出国しました。(写真①は、現地訓練所へ赴く義勇軍)

上陸地は、ソ連、満州、朝鮮の三国の境にあった港でした。そこから満州を北上し、満州国最北の省である黒河省に近い対店(トイテン)という訓練所に入りました。この地は、義勇軍の訓練地でしたが、当時は、支那人の抵抗が強くなっており、自ら薪を拾って生活しなければならぬ苦しい状態になっていました。技術の習得といった訓練学習は出来ない状態でした。(写真②は、現地で開拓作業をする義勇軍)

その地に約一年在隊したのち、昭和二十年六月、奉天への転進命令が出て奉天に向かいました。しかし、奉天は当時、武器製造工場があったため、アメリカ軍の空襲を受けて入ることが出来ず、奉天近くの延吉という町に入りました。延吉にも飛行場があり、我々は飛行場の格納庫で生活をしました。やがて、同じ兵舎で暮らしていた兵隊が沖繩に転進していきました。

〈終戦、捕虜生活〉

そして八月十五日の終戦を迎えました。ラジオで日本が敗戦したことを知りました。終戦の日から三日後、ソ連兵がやってきました。義勇軍の大部分は、やってくる前に米をもらい逃亡しましたが、九州と東北の隊員百人ほどは、白旗を掲げ捕虜にな

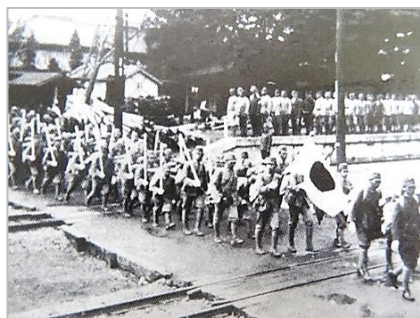
りました。

我々は、飛行場の引込み線の中に入れられ働かされました。食事は与えられませんでした。腹が空くので、周辺の畑から盗んで飢えをしのぎました。ソ連兵も飢えており、満州人から食糧を持って行きました。その手助けをさせられたこともありましたが、ソ連兵に食事の残りのザップもらいに行きましたが、もらえませんでした。岩塩をもらい、畑の豆を生で食って飢えをしのぎました。

そして冬になったころ八路軍(毛沢東が率いた共産党軍)がやってきて、我々を朝鮮人の家庭に入れてくれました。私が入った家は、あまり良い家ではなく、やがてけんかをして逃げ、中国人一家に入れてもらいました。旦那さんは、商売をしている人でしたが、まもなく朝鮮人一家の下宿人に世話をしてもらい入りました。子どもさんはいない、鍛冶屋をやっている人でした。この家で鍛冶屋の手伝いをやって暮らしました。当時珍しい自転車を買ったので乗り回していました。

〈帰国〉

この鍛冶屋の家は、仕事もあり居心地もよかったので、帰国したいとは思いませんでしたが、昭和二十八年になり、日本赤十字社の帰国事業が始まり、帰国することになりました。



(写真①)



(写真②)

シナ海寄りの港に六ヶ月ほど置かれ、やがて日本の帰国船・高砂丸で舞鶴港に上陸、日本に帰国しました。

〈記憶に残っていること〉

・八路軍の人民裁判を見ました。日本を助けた中国人の裁判でしたが、その凄さは今でも体が震える思いです。

・義勇軍というのは、先輩の権限が強かった所です。当時制裁を受けた額の傷が九十になっても消えませんでした。

・夜間の歩哨勤務をしていた、オオカミの恐怖におびえました。オオカミは人を襲ってきます。ある部隊では、ガラス窓を破って侵入してきて、部隊員が負傷を負ったというのを聞きました。

(写真は、「満州帝国の興亡」新人物往来社刊より。渡邊和さんは、令和五年十月五日逝去されました。ご冥福をお祈り致します。)

〈支那事変の勃発、戦局の泥沼化〉

これまで満州開拓移民等について述べてきましたが、(その35)で述べたように、昭和六年九月十八日、関東軍の一部が独断で柳条湖において南満州鉄道の線路を爆破する満州事変を起こします。政府はこの事変を追認し、昭和七年三月には、満州国を建国し、国際的な批判を受けつつも国内から多くの移民を送り出し本格的な国作りを進めます。

しかし、満州国建国五年後の昭和十二年七月七日、北京郊外盧溝橋付近で日本軍と中国軍の衝突が起こり、これが支那事変(日中戦争)へと発展し、戦局は泥沼化していきます。

(次回は、支那事変(日中戦争)の勃発、国内の戦時態勢の強化について記述する予定です。)